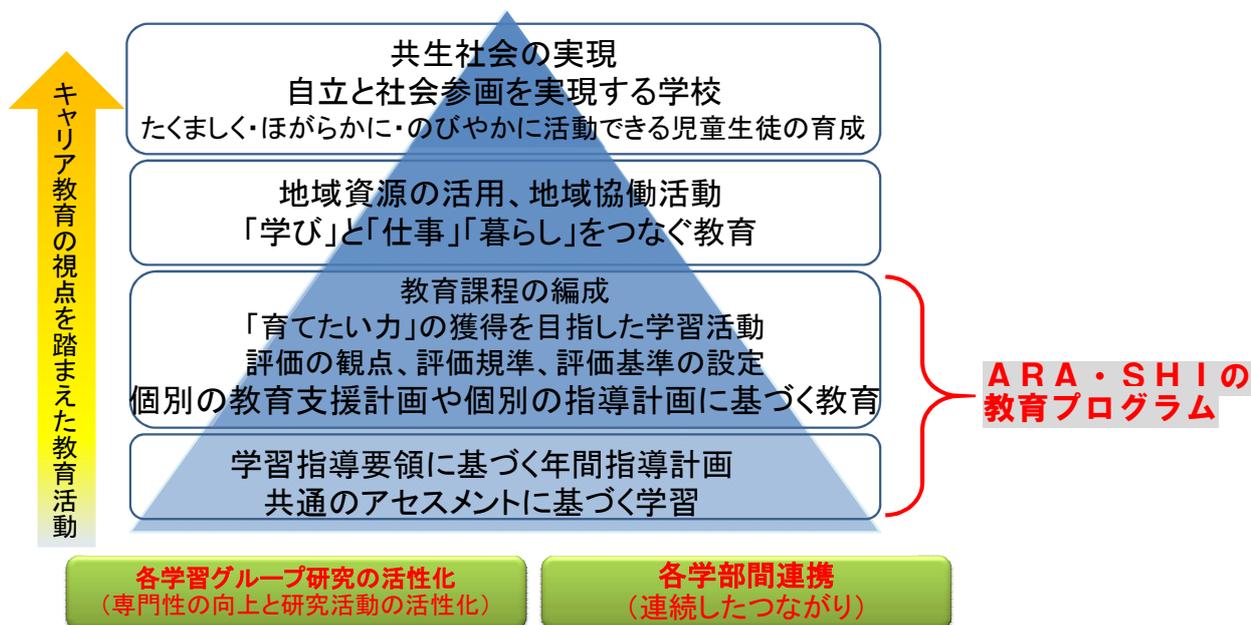


## 2 本校の研究構造

本校の研究構造は、キャリア教育の視点を踏まえた教育活動の深化の過程を表す4段階で示すことができます。平成26年度から平成28年度に研究の柱に据えたARA・SHIの教育プログラムの構築では、その研究構造の第1段階及び第2段階の内容を体系的な整理を進めました。

### 本校の研究構造



ARA・SHIの教育プログラムの構築にあたり、「育てたい力」をベースにして「どんな授業をすればいいのか」と「何を教えればいいのか」を明確にして、評価・改善活動を繰り返すこと、個々の児童生徒にどのような変容があるかを蓄積することによって個別の教育プログラムが作成され、それを根拠にして教育活動が行われるという視点を踏まえました。

また、各学習グループ研究の活性化及び各学部間連携を図りながら、共生社会の実現に向けて、個々の児童生徒が自立と社会参画できる力を身に付けることができるよう、研究活動をとおして教育活動の活性化を図っていきます。